

# 議会報告会 会場報告書

担当班：1班 班代表者：栗山 泰三

概要			
地区名：西紀北地区 日時：平成29年5月15日(月) 19:30~21:10 場所：しゃくなげ会館 参加人数：41人(男34人・女7人)	<b>【出席議員】</b> 栗山 泰三 隅田 雅春 吉田 知代 渡辺 拓道 國里 修久 大上 和則	(1) 開会あいさつ：栗山 泰三 (2) 議会報告：隅田 雅春 (3) 質疑応答：下記参照 (4) 意見・提言等：下記参照 (5) 閉会あいさつ：	挨拶・総括：栗山 泰三 司会進行：國里 修久 報告：隅田 雅春 受付・記録：大上 和則 渡辺 拓道 会場(マイク)：吉田 知代

## 【主な質疑】

質疑・意見	回答
・3月議会の補正予算に関し、総合戦略推進事業において、「地域ラボ」を整備するとの説明があったが、「地域ラボ」とは何か。  ・「地域ラボ」という名称がわかりにくいのではないか。	・「ラボ」は「ラボラトリー」の略称であり、研究所を意味します。「地域ラボ」は、「駅ラボ」で学んだ方の実践の場・拠点として市内各地区に整備しようとするものです。「駅ラボ」は、神戸大学と連携しながら進めている事業であり、篠山口駅内でコミュニティビジネス等を学ぶことが出来る場です。「駅ラボ」と「地域ラボ」は、篠山市に自活できる力を持った方を呼び込むための仕組みであるをご理解いただければと考えます。  ・そうした意見もありましたが、「地域ラボ」を通称的に使用していることをご理解いただければと思います。今後、新規事業を進める際には、馴染みやすい名称となるよう議会としても注視していきます。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月議会の条例に関し、篠山市職員の給与に関する条例の一部を改正する等の条例について、一般職の給与は復元されたと理解するが、管理職手当は復元されたのか。復元されていないとすれば、その理由は何か。</li> <li>・管理職の職員においても一般職の職員と同様に生活があることから、早期に管理職手当も復元されることを望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職手当については、継続して10%削減されている状態です。管理職の姿勢を示すという意味において、削減を継続されたときいています。</li> <li>・執行部にお繋ぎします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月議会の条例に関し、篠山市基金条例の一部を改正する条例について、空き家等の活用基金を加えるものであり、平成29年度において3,000万円を積み立てる予定であり、2件程度の改修を想定しているとのことであるが、寄付された空き家の状態によって改修費用は変動するものと考えられるがどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3,000万円を基金として積み立て、2件程度の改修を想定していることから、1軒当たりの改修費用が1,500万円程度になると説明しましたが、実際に要する改修費用が一律に1,500万円になるとは考えていません。ご指摘のように、寄付された空き家の状態によっては、小規模の改修・修繕もあること等、様々なケースが想定されると考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月議会の陳情・要望の取り扱いに関し、当地区自治会長会より、アルパインローズホテルの営業延長に関する要望書を提出したが、いまだに回答をいただいている。どのように対応しようと考えているのか。</li> <li>・要望書を受理したのであれば、書面にて回答するべきであると考えがどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該要望については、議会運営委員会で協議した中、執行機関において検討すべき案件であることから、誠実に対応するよう申し入れを行いました。</li> <li>・要望書をお持ちいただいた団体への回答につきましては、執行部において対応すべき事項であっても、「市当局へ適切に対応するよう申し入れた」旨の書面による回答をするようにします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の生家が空き家であり、若い夫婦に住んでいただけたらと考えている。空き家と移住者の仲介については、市は関わってくれるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住や空き家の活用については、政策部において所管しており、相談体制も整えていることから一定、対応できると考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西紀北小学校の児童数は30人程度、川阪自治会内に19歳以下の人はいないこと等、当地区においては、若い世代の移住・定住を進めることが喫緊の課題である。そうした中、定住促進重点地区として、若い世代に対する家賃補助等が行われているが、期待されるような効果は出ていない状況であると認識している。空き家の活用も含め、移住・定住を促進する施策を議会として提案いただくようお願いする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会として共有します。</li> </ul>